

御殿場

# 十字の園

(題字 鈴木生三)

発行/総合福祉施設  
御殿場十字の園  
施設長 宮島克利  
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1  
TEL 0550-83-1999  
FAX 0550-82-5189  
<http://www.jyuji.ne.jp>  
e-mail:info@g.jyuji.or.jp  
印刷/岳麓印刷株式会社

2017  
No.214

[聖句] 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2017年7月27日 夕涼み

松が根の岩田の岸の夕涼み君があれなとおもほゆるかな(玉葉和歌集：西行法師)  
(こんな快い夕涼みのひとときに貴方が居て下されば、ただそれだけで良いのです。)

イルド

理事長 平井 章

前回に記した『創立の精神の継承』の出版と古希(70歳)の祝い  
をレストランで行った。前菜が運ばれてきて記念写真を撮ることになった。私は、お店で用意してくれた紫の頭巾と紫のちゃんちゃんこを着ることになった。その前日には法人の職員から花束を戴いたが、紫の花を中心にしたものだった。

還暦の赤い頭巾とちゃんちゃんこは知っていたが、古希では紫であることを初めて知った。早速調べてみると、還暦(61歳)は赤色、古希と喜寿は紫色、傘寿と米寿は金茶色・黄色、卒寿は紫色、白寿と百寿は基本的には白色だということから桃色で祝うこともある。「紫頭巾」から片岡千恵蔵の映画を思い出すのは「古い奴」でしょうか。「お若いですね」と言われ始めたら若くない証拠。こんなことを書いていたら「健康保険高齢者受給者証」が届いた。複雑??

## 地域の中で創意工夫

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

福祉サービス等の設置や指揮監督の権限がどこに属されてきたかを振り返ることで、今日の状況や今後の動向を探りたいと思います。

社会福祉の展開は、その時代を背景に整えられてきました。戦後、喫緊の課題としてあったのが、貧困であり戦争による孤児や負傷された人々でした。そこで先ず、生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法が制定されていきます。その後、急速な経済発展を遂げる中、知的障がい者への支援に貫いた施策が無かったり、国民年金法の制定により国民皆保険と言われるものの、高齢者や母子に対しては生活保護法における施策が基礎でした。そこで各方面から提起があり、1960年代になつて、知的障害者福祉法、老人福祉法、母子福祉法（母及び父子並びに寡婦福祉法）がそれぞれ整えられていきます。因みにその時代における糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」といった言葉に表されるようなインクルージョンやノー

マライゼイションといった理念、法や制度がない中で高齢者への支援に向かつていった十字の園の先人たちの働きは、今の私たちの基礎的な福祉理念になっています。

この頃は、まずは制度化されてきた社会福祉を全国統一的に形成していくことが求められていましたので、中央集権的に展開され、特養を含め社会福祉行政のほとんどが国の機関委任事務とされていきました。市町の行政は国の機関として指揮命令に従って事務を管理執行しなければならず、地域福祉といった観点からは大きな障壁となつていたと言われています。

その後、80年代から90年代にかけて高齢者人口の増加により在宅福祉サービスの整備が急務となりました。国により整備目標が掲げられ、地域の実情に合わせた推進や在宅と施設のサービスの連続性が求められてきました。そこで、先の福祉六法に加え、社会福祉法や老人保健法を含めた福祉八法が1990年に改正されます。これにより、

## 新職員紹介

桑原 有希 2階 ひまわり・あじさい

はじめまして



四月から働くことになった桑原有希です。私は山梨県の出身で今は市内で一人暮らしです。この御殿場十字の園で働くきっかけになったのは大学生の時に実習をさせていただいたことです。その時の恩返しも含めて日々努力して働きたいと思えます。よろしくお願ひします。

瀧澤 由真 2階 すみれ

自己紹介



四月からお世話になっている瀧澤由真です。こう見えてずっとバスケットボールをやっています。スポーツが大好きです。高等学校を卒業し社会人の一員となりまた分からない事はばかりですが、笑顔を大切に精一杯頑張っていきます。

中垣内拓実 2階 こすもす

自己紹介



私の名前は中垣内拓実です。珍しい苗字だねとよく言われます。読み方はナカガイトと読みます。性格はよく言えば大らか、悪く言えば大雑把です。皆様から信頼して頂けるような職員を目指して頑張ります。よろしくお願ひ致します。

福原 唯

自己紹介



機能訓練指導員をさせて頂いております。柔道整復師の福原です。趣味は舞台鑑賞と愛犬と戯れることで犬を三匹飼っています。入社して二年経ちました。まだまだ至らない所も多く、迷惑おかけしますが、よろしくお願ひします。

小野 晃季 3階 ちどり

自己紹介



私が介護福祉士になる決意をしたのは高校生の時で、祖母が時期病に倒れた時、側にも居ることもできず何もできなかった事が特に影響しています。今は介護福祉士としてまだ歩み始めたばかりですが、これから頑張っていきます。

野村 圭 3階 ちどり

自己紹介



私が、介護職員になろうと思ったきっかけは、祖父が亡くなり、何もしてあげることが出来なかったのが悔しくて、少しでも何か出来ることがないかと思つた事がきっかけです。これからは、職員全員でより良い施設を目指し、協力して頑張っていきたいと思ひます。

宮下 彩佳 3階 かなりあ

自己紹介



四月から三階寮棟で働いています。以前は別の施設で少し働いていました。図工工作が得意なのでそれを活かして行きたいです。まだまだ未熟で不慣れな点があると思ひますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

特養などの入所措置権が市町に移譲されるとともに、老人福祉計画等の策定が義務づけられ、地方分権へと進んでいきます。

1999年には、機関委任事務は廃止され、「地域の中で、その人らしい自立した生活が送れるよう支える」ことを理念とした社会福祉基礎構造改革の報告があり、翌年に社会福祉法の改正や介護保険法が施行されました。これにより、サービス利用は措置から契約へと転換していき、保険者は市町となり、市町役割は大きくなっています。また、住民が参加した地域福祉の推進が層求められてきます。地域での自立した生活を支援していくには、行政だけでは限界があり、住民の参加が不可欠ということでもあります。

その後介護保険においては、2005年に地域密着型サービスが創設されグループホームなどの一部の指定権限が県から市町に移譲されました。さらに最近の2015年の改正では、定員一人以下の通所介護の指定権限が市町に移譲され、来年には居宅介護支援事業所も移譲することが検討され、市町への指定権限等の流れが増してきています。つまり、地域の

ことは地域の住民が決定する地域主権の流れがあり、身近な市町ごとで福祉を考え整備し取り組んでいくことが益々求められてきているということです。

先の改正では、介護予防の通所介護や訪問介護が介護保険のサービスから外れ、地域支援事業の中に含まれるようになり、経過措置があつて御殿場市は今年4月から新しい総合事業として始まりました。この総合事業は、市町が自分たちの環境に応じたサービスを作ることが可能になり、市町の裁量の範囲が広がっています。また、サービスを提供するのも、民間団体やボランティアなど地域の多様な主体の協力を仰ぐことができ、担い手も広がって、市町ごとで創意工夫した取り組みが重要となっています。今後は介護度1・2の方も総合事業に加わることが予想されるなど、その流れは層加速されることでしょう。わたしたち施設や事業所も制度化されたことだけでなく、地域の課題に常に目を向け、地域にあつてどうあるべきかを考えていく、そして、行政や地域の方々と協働し創意工夫しながら取り組んでいきたいと思っています。

認知症対応型  
デイサービスセンター  
ふじざくら

主任 小野 真樹

◇認知症対応型の役割

始めに「ふじざくら」について紹介します。定員は十二名。通常のデイサービスの職員配置は利用者五名に職員一名であるのに対し、ふじざくらは利用者三人に職員一名です。御殿場市では十字の園「ふじざくら」が唯一の認知症対応型デイサービスとなっています。利用の目的は、通常のデイサービスの方と変わりはなく、介護者の負担軽減や認知症予防、身体機能維持、向上、利用者自身の楽しみです。では、なぜ認知症対応型のデイサービスが必要なのでしょう。私が十字の園のデイサービスで働かせていただいた十数年。感じたことをお話させていただきます。



ふじざくらを利用されている方は様々な認知症の症状を持っています。その症状というのは、ある人にとってはおかしい事、迷惑な事・困った事ととらえています。でも、それでいいんですよ、そのままの自分でてくださいいねという場所が「ふじざくら」です。自宅では支えてくれる人がいます。ただ支えてくれる家族にもそれぞれの生活があるので、その方の「今」を受け入れ支えるには課題や限界があると思います。それでしたら皆で協力してその方の「今」を支えていきましょう。それが「ふじざくら」の役割だと思っています。その上で何より大切なのは、利用さ

れる本人が、ふじざくらで過ごす事を楽しめること、安心して居られる場所・依りどころである事です。職員配置の人数が通常のデイサービスに比べ多いのは、認知症の方は手がかかるから職員が多く必要なのではなく、認知症の症状を持った方が楽しく安心して過ごす場所作りには利用してくださる方と密に関わりを持ち、その方を理解すると同時に、私達を身近な存在であると感じていただく関わりが必要だからと思っています。そういった馴染みの関係が築けてはじめて、ふじざくらで安心して楽しく過ごせていただくとおもっています。「共に生きる」限られた時間の中で、ふじざくらはそれを大切にしている場所です。

## すみれ

★アイスクリームパーティー

松本 耕



梅雨明け間近という事もあり、暑くて湿度の高い日が続いています。七月十四日にアメリカの世界最大級のアイスクリームパーティーバスキン・ロピンスの31(サテーターワン)アイスクリームを買ってきて、すみれユニットの皆さんに味わっていただくイベントを開催しました。  
色とりどりのアイスクリームの中から、まず涼しげな色を見て選び、次に味わって体の中から涼むという夏ならではの粋な遊びを体験していただきました。今ではアイスクリームは日常的な食品ですが、どちらかと言うと嗜好品に近い立ち位置です。だからこそ旬の味わいの尊さを体感していただくことが出来て、涼しさ心地よさが皆さんの笑顔を呼んでくれました。

## ひまわり

★カレーパーティー

前田理沙



六月某日の昼食にカレーパーティーを行いました。まずは食材の下ごしらえです。施設内での生活では包丁を持つ機会が少ない皆さんですが、包丁を持つと自然と姿勢も良くなり真剣な表情でニンジンやジャガイモを切ってくださいました。体が覚えていたのでしょね。約三十人分のカレーを作るために用意したのは、大きなお鍋がなんと三つ！煮込みの工程でもお鍋に付きっきりで灰汁を取ったり、ルーを溶かしたり、ときばきと調理をこなしていきます。施設の給食でも供されることのあるカレーですが、自分達で作ったものはまた格別の味でした。今後も、作って楽しく食べておいしい食のイベントを計画していきたいです。

## ちどり

★天丼パーティー

堀田 良



六月十六日(金)にユニットでは、初の天ぶらを揚げるイベントを開催しました。きつかけは「天丼が食べたい」の言葉を頂いたので、全員を連れて外出はなかなか難しかったため、ユニット内での開催を計画しました。

揚げものは初めての事で、あたふたしながらの催しでしたが、なんとか皆さんに食べていただくことが出来て一安心でした。「おいしい！」の言葉に傾聴しているなことを実感していただけるようにユニット職員で考え、計画していきたいと思えます。

## ひばり

★フレンチトースト 飯田力太郎



七月四日におやつイベントでフレンチトースト作りを催しました。ホットプレートを使ってゆっくりふっくらと焼いて頂きました。出来上がりはただのフレンチトーストでは味気ないので、最後にアイスクリームやハチミツをトッピングすることにしました。「美味しいね」「またやりたいたいね」と声が聞こえてきました。参加された皆さん一人一人とても素敵な笑顔が見られたことで、職員一同開催してよかったと感じることができました。これからも皆さんの傍らに寄り添いながら一緒にイベントを楽しんでいきたいです。

## かなりあ

★大涌谷へ行く 荻部愛理



七月六日箱根の大涌谷へ行ってきました。火山活動の影響で一時期閉鎖されていましたが、解除となりました。大涌谷が近くわっていましたが、大涌谷が近くなるにつれて車内にも硫黄のにおいが流れてきてワイワイ言いながら賑やかに向かうことが出来ました。当日は少し天候が悪く肌寒かったです。お昼御飯は、皆さんそれぞれに好きな物を注文することに、大きなエビが二本のつたうどんを頼んで「おいしい、おいしい」とニコニコしながら食事している方もいらっしゃいました。そして一個食べると寿命が延びると言われている黒たまごをおみやげに買って、楽しく行ってくる事が出来ました。遠出だったので皆さん疲れたと思いますが、「今日はいいい一日だった」と言ってもらえて私達も嬉しかったです。

## ケアハウス

振り込め詐欺防止に

ついて学びました

高橋 雅昭

ケアハウスでは市役所にある消費生活センターの方を講師として来ていただき「ストップ振り込め詐欺」のお話をいただきました。内容としては今話題の選付金詐欺や、一度だけ通信販売で申し込んだ商品がいつの間にか定期購読になって解約できなくなっていたケースなどの話を聞くことができました。

他人ごとではない話を、ユーモアを交えて話していただき、また時には入居者の方も参加して寸劇形式で演じていただいたりと、一時間余りの時間でしたが楽しく学ぶことができました。

入居者の方々にも身を守ってもらおうことも大切ですが、職員としても何か気にならなことがあつたら確認をとるなど、施設全体で特殊詐欺の防止に取り組みしていきたいと感じました。



実りあるひだまりにて

二枚橋アイサービスセンターひだまり 室伏 千鶴

ひだまりでは、毎年畑で採れる新鮮な野菜が、皆さんの楽しみになっています。美味しい物を食べた後、畑で作った野菜や果物について話しているという笑い顔で会話も弾みます。まさに元気の源は食べ物なのだ実感しました。最近では独居の方や家庭の事情などで、家族と食卓を囲む事が少ない方が増えていきます。ひだまりで食卓を皆さんと囲むのはとても楽しい時間です。まるで一つの大家族のような雰囲気になります。楽しみも色々ありますが、畑の恵みはそういった楽しみ一つとしてこれからも続けていければと思っています。



土用の丑の日にみんなで鰻を食べよう！

くろつちよ 小林 志保

せっかく鰻を食べるのであれば、持ち帰り弁当の発泡スチロール等の使い捨て容器ではなく、『うな重』の名前のおり重箱で供された鰻を食べよう、うな重の出前をすることになりました。

今年の夏は七月二十六日と八月六日の二回、土用の丑があります。旬を堪能しようとする最初の丑の日をお願いをしました。当日の朝から皆さんそれぞれワクワク。お昼に届いた重箱を開けて、香ばしい湯気が立ち上る鰻を前にすると自然と笑みが溢れます。山椒をたくさんかけて食べる方、タレがしみ込んだご飯を楽しむ方、それぞれ自由気ままに食べました。

今年十月まで暑さが続くと言われています。これから暑さのピークを迎えますが、これで夏を乗り切ることができそうです。



カレーパーティー

ショートステイ 宮地 秀明

ショートステイでは昼食時のイベントとしてカレーパーティーを行いました。人参・じゃがいもの皮むきから、包丁を使って食材の下ごしらえ等、なるべくみなさんが参加できるように考慮しました。

最近はお子さんと娘さんご夫婦と、あるいはお孫さんのご家族とともに住んでいらっしゃる方が、調理をする立場の方が少ないので大丈夫だろうか心配したのですが、いざ包丁を持つと長年主婦として三食献立・調理をしていた方々であるだけに、私達が手を出すスキがない状態でした。逆に私達職員にテキパキと指示を出し、美味しいカレーを作ることができました。

自分たちで作ったカレーというところもあり、食事の時は皆で料理の話しながら和気あいあいと食べることができました。今後もみなさんに参加していただき、職員も一緒に楽しみなで行うことができるイベントを企画していきたいと思っています。



一日外出

ふじざくらデイサービス 中川 玲花

五月に「富士サファリパーク」へ出かけてきました。天候にも恵まれ、まさに五月晴れの陽気でした。ここに初めて足を踏み入れる方も何回目かの経験者の方も、ゲートを通り抜ける瞬間には一様に「何か出てきそうだなあ」と心配そうな表情をされていました。車が進んで行くに従って眼前に現れる動物たち・熊の親子やライオン、とら等の姿が見えると大盛り上がりでした。どの光景も新鮮で「ホラ！ いたい木の上！」と先ほどの心配はどこへやら？ 様々な動物を見学し、午後からはワラビーに餌やりの体験を行って頂きました。皆さん優しく素敵な笑顔を見せて下さいました。日常生活を離れ普段では味わえない刺激を受ける経験が出来たと思います。今後も楽しい外出を計画していきたいです。



〈ボランティア紹介〉

株式会社コスメロール

株式会社コスメロール

んは、ロレアル(世界最大の化粧品会社)の世界四十五工場のひとつ、そして日本唯一の工場としてランコムとシユウエムラ製品の製造と普及の一翼を担っています。

「人にはそれぞれ誰かが果たすべき役割がある」のコンセプトを元に、年に一度全世界で社会貢献活動に参加する「シチズンデイ」において本年私共の施設を選んでくださいました。十名の高度な技



術を有するセラピストさんが、心身共にリラックスさせてくれるハンドセラピー、心理カウンセリング手法や色彩学を取り入れたメイクアップセラピーを、六十五名という多くの人数に施術してくださいました。

心身を癒して頂いた喜びに加え、私達も全世界規模の活動に文字通り触れさせて頂いた事に感謝いたします。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

4月分

芹澤きみ枝、匿名希望、鈴木きよ子

5月分

なし

6月分

勝俣二三夫、西村正子、小川直子、日本キリスト教団岩本教会、豊住積山、目黒区民生委員協議会西部第2地区親睦会

7月分

小林一、山本淳子、小野郁夫、匿名、福島正昭、大野原建設工業、岩田富雄、東山青年団、鮎沢青年団、深沢青年団、小宮山次由、土屋美佐子、小宮山年男、山崎嘉光

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

4月

アドナイ館、藤原節乃、神保久美子、杉山英子、勝又ツヤ子、中里京子、小林成一、野木和子、厚生年金婦人会、杉の子大正琴、福島正昭、なでしこ会、市婦連福祉グループ、藤原グループ、中里京子、ビューティーサロンヤマダ、印野はぎまの会、エンジェル(レクダンス)、御殿場赤十字奉仕団、野木須美子、図書館お話し会、若葉会、鈴の会、隆生会、和田律子(チエロの演奏会)、勝又美和子

5月

藤原節乃、中里京子、厚生年金婦人会、アドナイ館、日置富貴子、神保久美子、藤江静子、金子克己、勝又ツヤ子、ゆうゆう母親クラブ、藤川けんぐろ、ビューティーサロンヤマダ、

御殿場十字の園へのご寄付		
4月分	3件	1,033,000円
5月分	0件	0円
6月分	6件	29,000円
7月分	14件	199,129円
4月~7月 累計23件 1,261,129円		
ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。		
郵便振替口座 口座番号 00870-9-190162 口座名称 社会福祉法人十字の園 御殿場十字の園		
ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。		

野木和子、不二聖心中学、加藤正代、中曾根靖枝、御殿場赤十字奉仕団、琴音会、鈴の会、市婦連福祉グループ、野木須美子、勝又美和子、東山婦人会、春風一路、関根保子、たかね婦人会OB会

6月

しょうえい幼稚園、厚生年金婦人会、アドナイ館、勝又ツヤ子、藤原節乃、金子克己、秋葉絹子、野木和子、ビューティーサロンヤマダ、印野はぎまの会、不二聖心中学、川波俊昭(さつき展)、コスモロール、なでしこ会、御殿場赤十字奉仕団、深沢女性の会、エンジェル(レクダンス)、杉山英子、市婦連福祉グループ、杉の子大正琴、春風一路、野木須美子、関根保子、鈴の会、勝又美和子、たかね婦人会OB会

7月

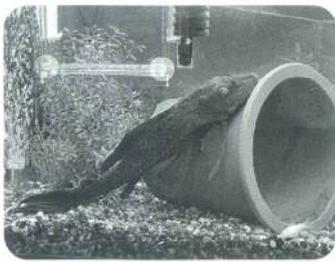
東山婦人会、金子克己、藤原節乃、岩崎欣子、勝又ツヤ子、日置富貴子、中里京子、秋葉絹子、勝又美和子、アドナイ館、厚生年金婦人会、御殿場赤十字奉仕団、御殿場警察交通安全課、春風一路、鈴の会、藤原グループ、市婦連福祉グループ、なでしこ会、東山青年団、深沢青年団、鮎沢青年団、野木須美子、隆生会

玄関先の水槽

正面玄関には六十センチの熱帯魚水槽があります。入居されている方々、ご家族の皆さんが見入っている事の多い玄関先の小さな小さな水族館です。

小型の数種類の魚と推定年齢十歳のブレコがいます。他の魚が四十ミリ程度なのに対して、全長二百五十ミリ程に育っています。皆さん心配されますが、彼は草食性なのでお魚は食べません。臆病な性格のため驚き暴れてのケガが心配で、水槽の中に隠れ家を置いてあります。今日は珍しく姿を現してくれました。

もう一つ、この水槽内のグッピーが子供を産みました。「胎生めだか類」のグッピーは、雌の体内に卵を持ったまま時期が来ると子



供を生みます。そのままでは子供を食べてしまうため専用の飼育ボックスを置いて、育つのを待つことにします。もしよかつたら静かに見てやってください。

あとがき

夏から秋に掛けての旬の果物は桃。西洋における最初の果物は聖書に登場する林檎です。対して東洋の最古参が桃です。古事記では、イザナギノミコトが黄泉の国から追ってくる醜女に投げて退散させたのが桃の実です。昨今、会席料理等のお品書きに見ることのできる「水菓子」の語源が桃という人もいます。果肉は水分を多く含んで柔らかく甘い果汁が口いっぱい広がることから生まれた言葉なのでしようね。いにしへの桃の「尊さ」は、今では「美味しさ」という幸せを分け与えてくれていきます。その幸せの傍らにこの最新号をお届けいたします。

(たまご)